

中間連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間連結会計期間末 (2005年6月30日)	当中間連結会計期間末 (2006年6月30日)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		103,189	117,608
現金及び預金		11,179	20,067
受取手形及び売掛金		66,128	69,664
たな卸資産		15,307	15,994
その他		10,573	11,881
固定資産		78,957	76,111
有形固定資産		54,018	53,264
無形固定資産		5,253	4,903
投資その他の資産		19,685	17,943
資産合計		182,147	193,719

(単位:百万円)

科目	期別	前中間連結会計期間末 (2005年6月30日)	当中間連結会計期間末 (2006年6月30日)
		金額	金額
(負債の部)			
流動負債		108,713	111,654
支払手形及び買掛金		65,896	69,922
短期借入金		11,353	9,122
その他		31,463	32,609
固定負債		11,265	13,767
長期借入金		1,090	3,817
退職給付引当金		9,638	9,024
その他		536	924
負債合計		119,979	125,421
(少数株主持分)			
少数株主持分		1,239	-
(資本の部)			
資本金		10,374	-
資本剰余金		16,254	-
利益剰余金		43,083	-
土地再評価差額金		9,075	-
その他有価証券評価差額金		491	-
為替換算調整勘定		89	-
自己株式		111	-
資本合計		60,928	-
負債、少数株主持分及び資本合計		182,147	-
(純資産の部)			
株主資本		-	80,687
資本金		-	10,374
資本剰余金		-	16,254
利益剰余金		-	54,173
自己株式		-	115
評価・換算差額等		-	13,762
その他有価証券評価差額金		-	1,897
繰延ヘッジ損益		-	3
土地再評価差額金		-	15,572
為替換算調整勘定		-	84
少数株主持分		-	1,372
純資産合計		-	68,297
負債純資産合計		-	193,719

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間 (自2005年 1月1日 至2005年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自2006年 1月1日 至2006年 6月30日)
	金 額	金 額
売上高	211,346	226,240
売上原価	161,033	171,981
売上総利益	50,312	54,259
販売費及び一般管理費	36,135	38,017
営業利益	14,177	16,242
営業外収益	279	275
営業外費用	125	83
経常利益	14,331	16,434
特別利益	-	41
特別損失	877	260
税金等調整前中間純利益	13,453	16,215
法人税、住民税及び事業税	5,946	5,989
法人税等調整額	542	575
少数株主利益	160	49
中間純利益	7,889	9,602

現金及び預金が増加

好調な業績を背景に、現金及び預金が前年同期末比88億88百万円増加し、200億67百万円となり、有利子負債(短期借入金および長期借入金)の129億40百万円を上回りました。

自己資本比率が向上

自己資本比率が34.5%となり、前年同期末比1.1ポイント向上しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間 (自2005年 1月1日 至2005年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自2006年 1月1日 至2006年 6月30日)
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,267	12,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,094	4,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,647	1,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	6
現金及び現金同等物の増加額	2,546	6,060
現金及び現金同等物の期首残高	7,717	13,891
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,263	19,951

キャッシュ・フローの状況

法人税の支払い額が増加したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは121億72百万円となり、前中間連結会計期間に比べて30億94百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは49億51百万円となり、フリー・キャッシュ・フローは、72億21百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億54百万円となりました。

売上高が増加

カラー複写機やサーバ、情報セキュリティ関連商品の販売が好調に推移し、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」が大きく伸びました。

販管費比率が改善

販売費及び一般管理費の伸びを抑えた結果、販管費比率が前年同期の17.1%から16.8%へ0.3ポイント改善しました。

中間純利益が増加

退職給付会計の適用による会計基準変更時差異償却(特別損失)は、2005年で完了しました。